

株式会社エージーピー 2019年度第3四半期決算説明資料



空を想い、技術を極め、環境社会を創る。

2020.1.30

企業理念

AGPグループは、技術力を極め、環境社会に貢献します。

- ・ 環境に優しく、安全で豊かな社会の実現に貢献します
- ・ お客様に選ばれる技術・サービスを誠実に提供し企業価値を高めます
- ・ 燃える挑戦心を持った社員とともに成長します

長期ビジョン2025(骨子)

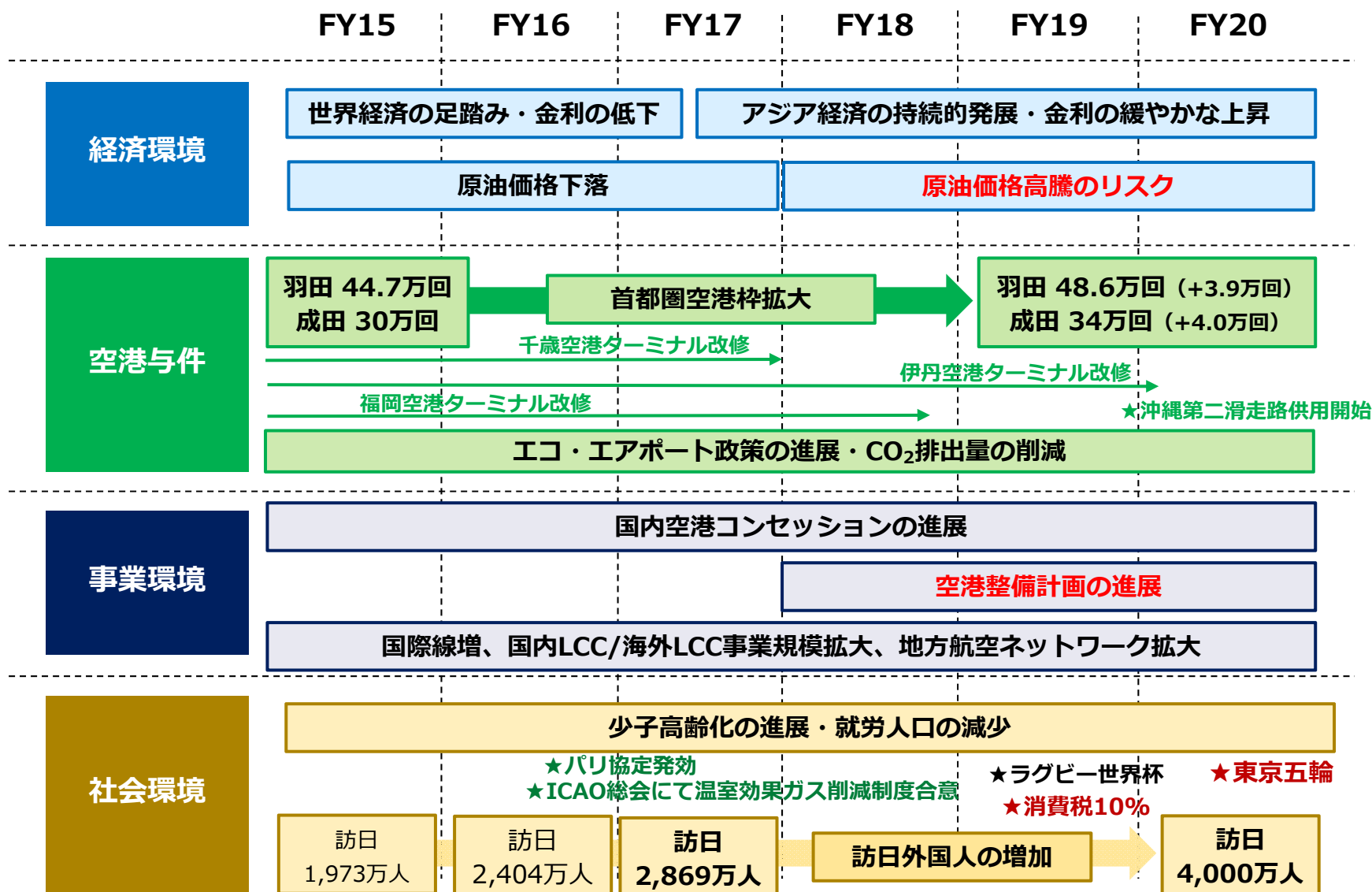
(2014.12.25策定)

AGPグループは、高い技術力と環境社会への貢献によって、空港インフラ機能を担う信頼される企業になるとともに、空港の安全を守るために培われた技術を日本中の街へ、さらには海外へとお届けします。これにより、今後10年間で

- ・ 売上200億円、営業利益率10%以上を安定的に達成できる企業になります
- ・ 空港外の売上比率3割以上を目指します
- ・ エコ・エアポートの実現を通してGPU利用を促進することにより、主要空港のCO2排出量を13.5万トン削減し、地球の温暖化防止に貢献します

(注) GPU : Ground Power Unit (地上動力供給装置)

当社を取り巻く状況



2019年度第3四半期業績概要

Executive Summary



- 2019年度第3四半期業績は、対前年では**増収増益**。
中部空港において動力事業開始の効果もあり動力事業は好調、新たに開始したGSE等販売も売上は伸びた一方でフードカートは今期案件が少なく減収となった。営業費用は原材料費の増加に加え、適正な人員配備（*1）による人件費の増等により、営業利益は増益となったが、営業利益率は若干の未達となった。
- 対計画では、2019年度第3四半期の売上は未達であったものの、利益は上回る結果であり、**通期業績は期初の業績見通しを据え置き**。
- 設備更新投資の遅れ等により、自己資本比率は60%を超え一時的に高止まり。

(*1 ; 技術人財の確保と育成は当社の継続成長の課題と認識し、引き続き人材投資を継続)

2019年度第3四半期業績サマリー



連結損益計算書

対前年同期比

(単位：百万円)

	2018年度 3Q実績	2019年度 3Q実績	増減額
営業収益	9,780	10,463	+682
営業費用	9,005	9,657	+652
営業利益	775	805	+30
営業利益率 (%)	7.9%	7.7%	▲0.2pt
経常利益	771	830	+59
四半期純利益 ¹	436	567	+131

営業収益内訳²

(単位：百万円)

	2018年度 3Q実績	2019年度 3Q実績	増減額
動力事業	4,124	4,473	+349
整備事業	2,512	2,507	▲4
施設事業	1,568	1,670	+102
セキュリティ事業	441	504	+62
フードシステム	326	207	▲118
新規事業	423	450	+26
GSE等販売	383	649	+265
合計	9,780	10,463	+682

連結貸借対照表

対前期末比

(単位：百万円)

	2018年度 期末	2019年度 2Q実績	増減額
総資産	13,675	13,685	+9
有利子負債残高	558	362	▲196
自己資本	9,123	9,495	+372
自己資本比率 (%)	66.7%	69.4%	+2.7pt
ROE (%)	10.0%	-	-

第3四半期時点では、対前年で増収増益。動力事業が前年同期比大幅増収となっている。利益ベースにおいても、動力事業が牽引している。

自己資本比率は60%超 (50%以上の確保が中期目標)

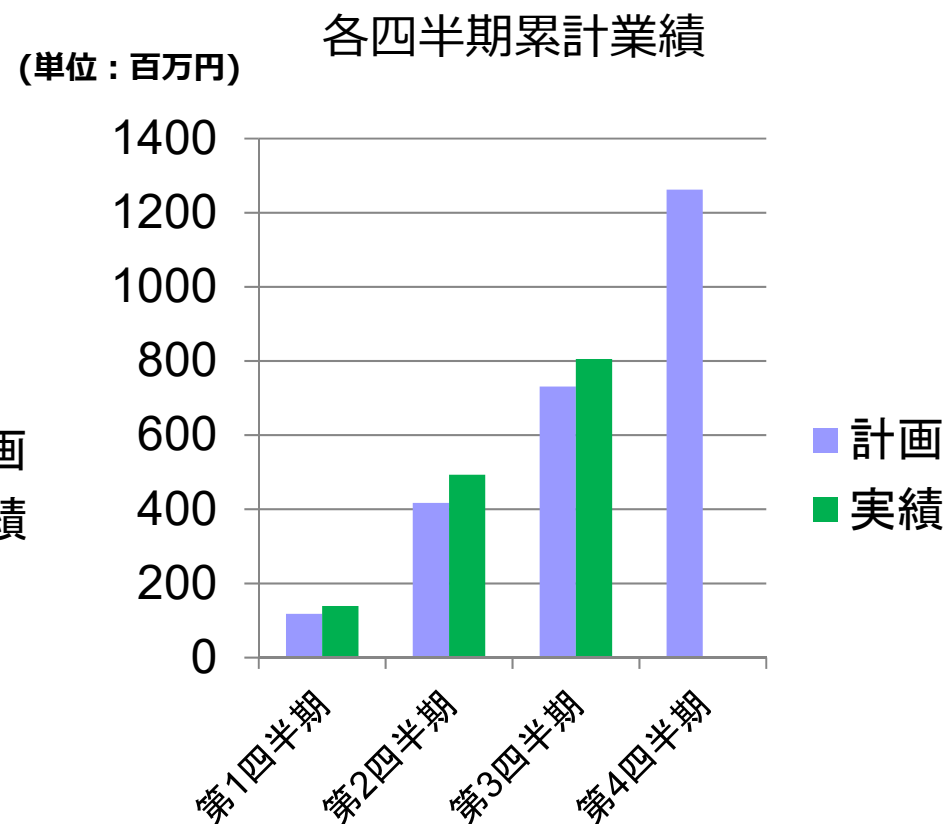
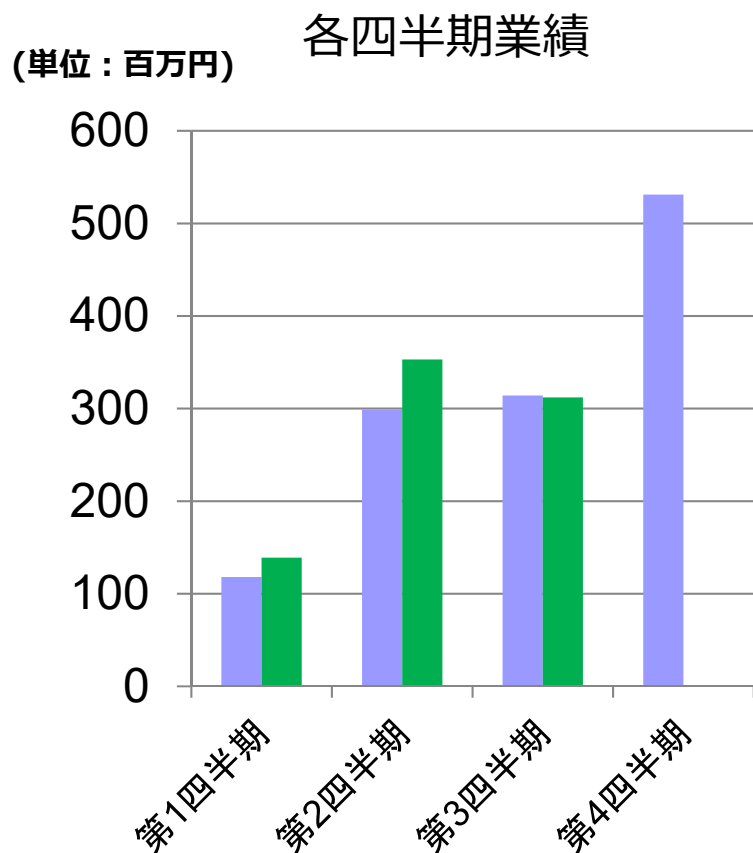
¹ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

² 営業収益の事業別内訳は決算短信の報告セグメント別収入を組み替えて表示
制度会計では整備事業と施設事業を合わせて整備事業セグメント、セキュリティ事業・フードシステム事業・新規事業・GSE等販売事業を合わせて付帯事業セグメントとしている

四半期営業利益の対計画進捗



営業利益段階で計画を達成しており、利益計画の進捗は順調。
(例年とおり、期末に利益が積みあがる計画であり、第4四半期が重要)

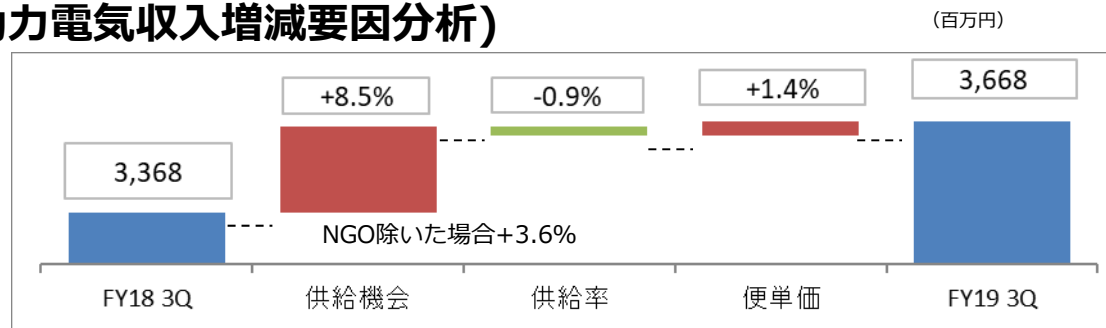


対前年電気収入増減要因分析

【動力事業】



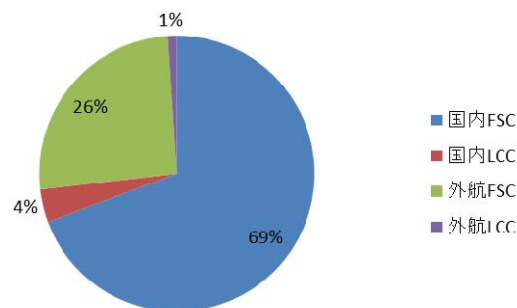
(対前年 動力電気収入増減要因分析)



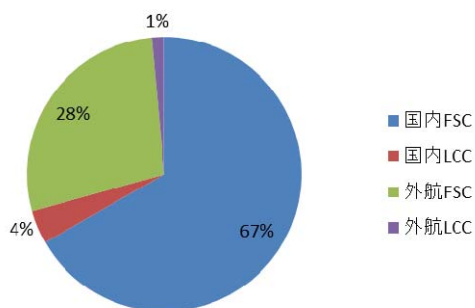
FY18 /FY19 3Q 電気収入比較【NGOを含む】

	電気 売上 (百万円)				供給機会 対前年比	供給率 前年差	便単価 対前年比
	FY18 3Q	FY19 3Q	差異	対前年比			
国内FSC	2,334	2,448	114	104.9%	105.7%	▲0.8pt	100.5%
国内LCC	130	143	14	110.6%	110.5%	1.0pt	97.0%
外航FSC	869	1,022	153	117.6%	117.3%	▲0.4pt	100.8%
外航LCC	35	54	19	154.9%	114.8%	3.0pt	108.8%
全体	3,368	3,668	300	108.9%	108.5%	▲0.6pt	101.4%

FY18 3Q 電気収入売上比率



FY19 3Q 電気収入売上比率



【FY18/FY19 3Q要因分析】

2018年10月1日より中部国際空港の事業移管を受け、中部国際空港における動力事業を開始したことで供給機会が大きく増えている。

外航FSCやLCCの供給機会の伸びが著しい。

3Q以降は、A350やB787の更なる取込みや、外航FSCの取込みによる供給率向上を目指す。

注 FSC : Full Service Carrierの略
LCC : Low Cost Carrierの略
NGO:中部 (空港3レター)

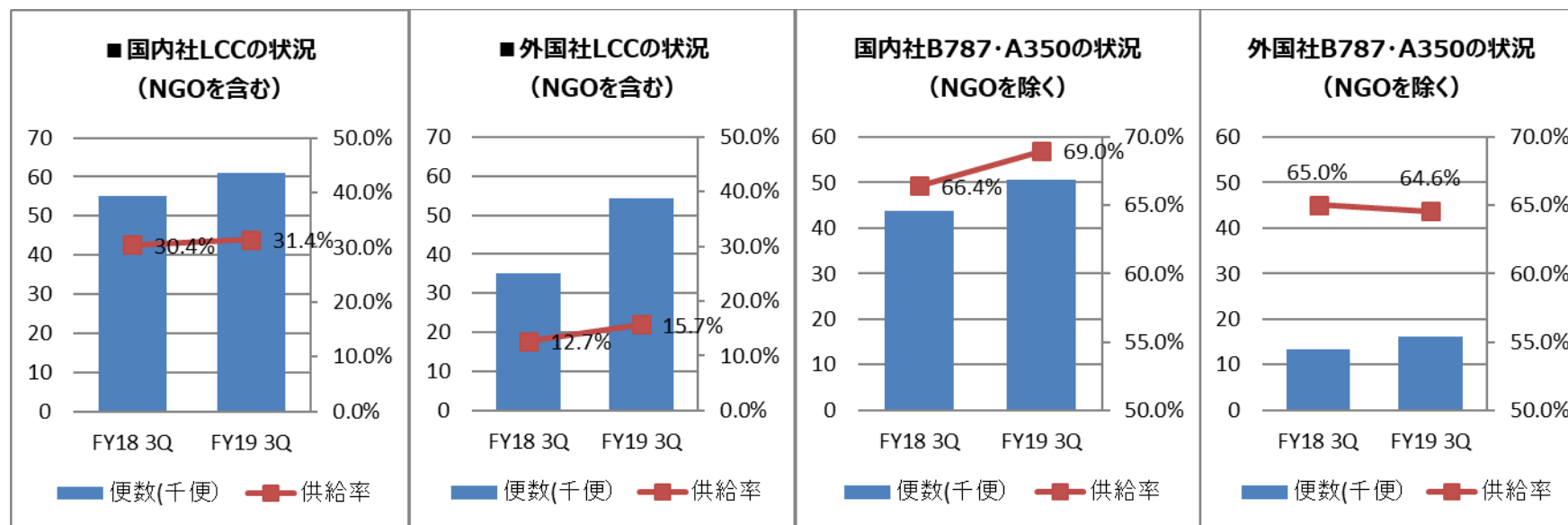
供給率向上に向けた施策

【動力事業】



■ 供給率向上に向けた取り組み実績

- A350・B787取込みに向けた180kVA化工事
- 使用実績によるコストメリットや二酸化炭素削減効果を使用しての営業活動
- 空調を有効活用した営業活動（暑い・寒いに対応するきめ細かい温度管理等）
- 電源ニーズに対応した移動式電源車のリース事業の提案



NGO:中部（空港3レーター）

空港外案件の拡大

【整備・付帯事業】



➤ 整備事業における空港外案件の拡大

(単位：百万円)

	FY18 Q3	FY19 Q3
空港内売上	2,083	1,995
空港外売上	429	512

*空港内売上は空港会社、空港ビル、航空会社からの受注

■ 主な空港外案件

- 埼玉 物流システム施工管理業務
- 埼玉 物流システム保守点検
- 広島 物流システム保守点検
- 佐賀 物流システム保守点検
- 名古屋 物流センター夜間立会業務
- 大阪 物流システム点検
- 沖縄 ロジスティクスコンベヤ工事

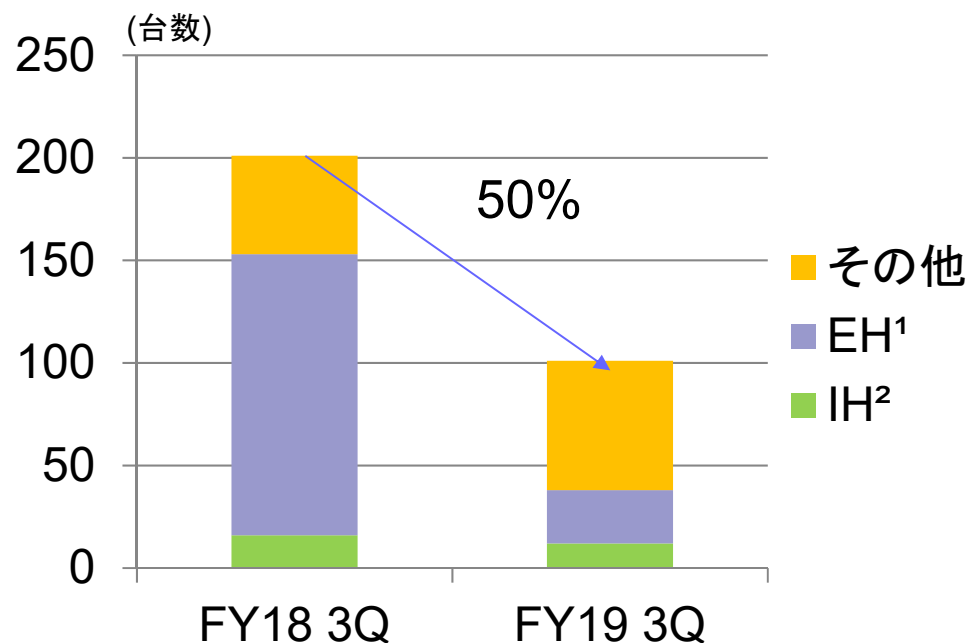
➤ セキュリティ事業における取扱機器台数の拡大

(単位：台)

	FY18期末		FY19 Q3	
	空港内	空港外	空港内	空港外
X線検査装置	166	137	211	153
金属探知機	134	41	144	50
爆発物検査装置	181	109	226	133
その他	58	0	67	0
合計	539	287	648	336

フードカート販売状況

【付帯事業】



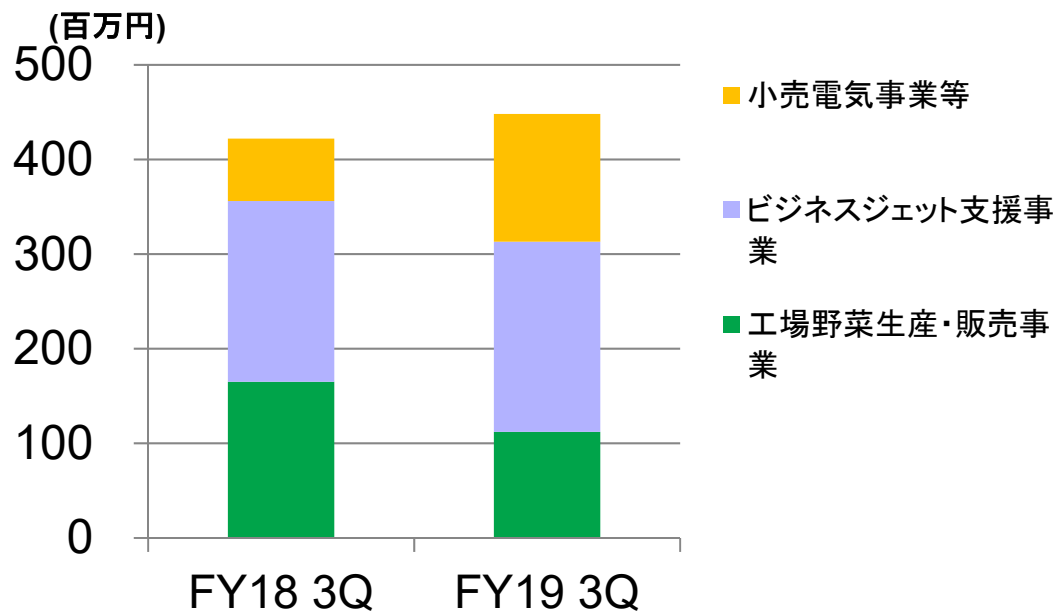
2019年度第3四半期のフードカート販売台数は、主力である再加熱カートが小口の受注であり、対前年と比較しても大幅減少であるものの、これは計画通り。一方、その他カートは、更新案件の追加受注もあり順調。

(件数/台数)	FY18 3Q	FY19 3Q	増減	備考
病院 (内リピート案件)	7件/146台 (7件/146台)	4件/25台 (3件/24台)	▲3件/▲121台 (▲4件/▲122台)	FY18 2Q 大口病院更新案件あり (EH 121台更新)
病院以外 (内リピート案件)	10件/55台 (4件/41台)	14件/76台 (13件/66台)	+4件/+21台 (+9件/+25台)	
合計 (内リピート案件)	17件/201台 (11件/187台)	18件/101台 (17件/90台)	+1件/▲100台 (+6件/▲97台)	

1 EH : ヒーター加熱でチルド帯での保冷機能を備えた再加熱カート
 2 IH : 電磁誘導加熱(Induction Heating)技術を応用したチルド庫対応再加熱カート

新規事業売上高

【付帯事業】



BJ支援実績	FY18 3Q	FY19 3Q
定期駐機契約数	5機	4機
臨時(SPOT)駐機	57機	67機
クリーニングサービス	28回	28回
トローリングサービス	329回	354回
N2供給サービス	30回	39回
O2供給サービス	—	26回
ウォーターサービス	—	44回
ラバトリーサービス	—	45回

レタス販売実績	FY18 3Q	FY19 3Q
業務用	89,332kg	61,633kg
店舗販売	141,591袋	99,297袋



小売電気販売状況

種別	契約合意 件数		見積完了 件数		見積依頼 件数	
	FY18期末	FY19 3Q	FY18期末	FY19 3Q	FY18期末	FY19 3Q
高圧	71	103	550	859	706	878
低圧	1,065	1,442	1,950	3,220	2,469	3,539



第3四半期のTOPICS



【10月】横芝植物工場 LED設置工事完了

【11月】主要株主の異動（予定）を発表

【12月】グループ会社再編を発表

その他

(企業理念、当社を取り巻く状況、
環境への取り組み)

2019年度業績見通し



連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 計画	増減額
売上高	13,818	14,800	+981
営業費用	12,462	13,500	+1,038
営業利益	1,356	1,300	▲56
営業利益率 (%)	9.8%	8.8%	▲1.0pt
経常利益	1,352	1,250	▲102
当期純利益 ¹	877	770	▲107

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 計画	増減額
総資産	13,675	15,158	+1,483
有利子負債残高	558	735	+177
自己資本	9,123	9,518	+395
自己資本比率 (%)	66.7%	62.8%	▲3.9pt
ROE (%) ²	10.0%	8.3%	▲1.7pt

期中改善による営業利益率10%、ROE10%の達成を目指す

営業収益内訳³

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 計画	増減額
動力事業	5,475	5,670	+195
整備事業	3,925	3,920	▲5
施設事業	2,240	2,140	▲100
セキュリティ事業	608	570	▲38
フードシステム 事業	453	500	+47
新規事業	558	750	+192
GSE等販売 事業	556	1,250	+694
合計	13,818	14,800	+981

台風復旧のリバウンドがあるものの、事業環境が良好な既存事業の基盤を強化しつつ、成長戦略の加速を両立させ、新規事業、GSE等販売を拡大し売上高148億円を計画。

¹ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

² (当期純利益*) / (期首・期末平均自己資本)

* 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を用いて計算

環境への取り組み実績

CO₂ 排出量の削減

(単位 : t-CO₂)

(t-CO ₂)	FY18 削減実績	FY19	
		削減目標	3Q実績 (累計)
CO ₂ 削減量 *1	316,887	329,000	257,314

*1 GPUの利用によるAPUからのCO₂排出削減量
対象空港 : CTS・NRT・HND・NGO・ITM・KIX・UKB・HIJ・FUK・OKA

エコ・エアポート活動 取り組み実績 (全支社・支店)

	FY17 活動実績	FY18 活動実績	FY19 3Q累計実績
活動項目 件数 *2	59 件	96 件	94件

*2 1つの活動項目を1件とカウント (FY18から清掃活動は1回/1件とカウント)

環境への取り組み 事例紹介



🍀 エコ・エアポート活動

※「エプロン清掃」と「エコドライブ」は、全支社・支店 実施項目



CTS エプロンクリーン活動



NRT エコドライブキャンペーン参加



NRT 空港周辺道路美化活動



ITM ごみゼロキャンペーン参加



KIX ごみゼロキャンペーン参加



NGO 空港クリーンアップ大会参加



AGPO 会社周辺クリーン活動



本社/HND
大田区 空の日フェスティバル

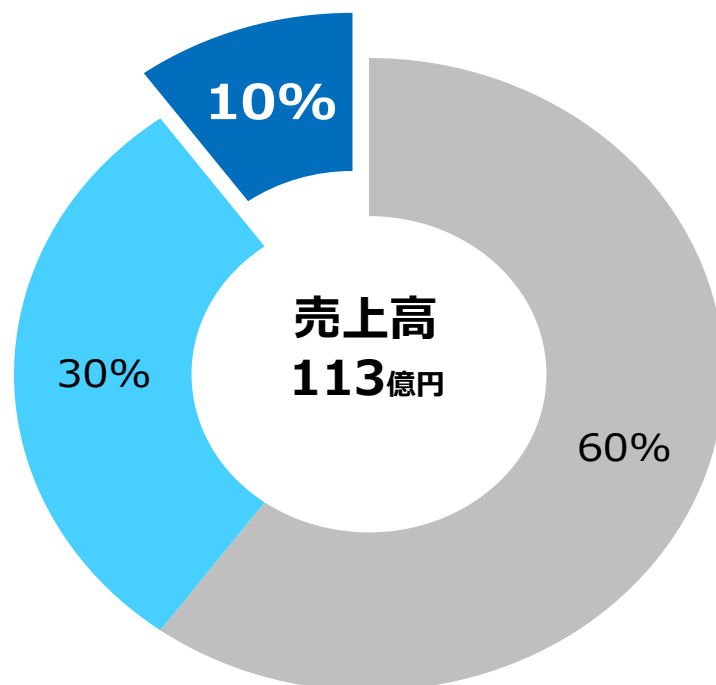
顧客別売上割合



航空産業のイベントリスクに備えるため、航空会社・空港会社などの既存顧客以外の新規ビジネス領域を開拓・強化し、FY19迄に空港外売上比率2割以上を目指していたが、足元では13%程度にとどまる計画

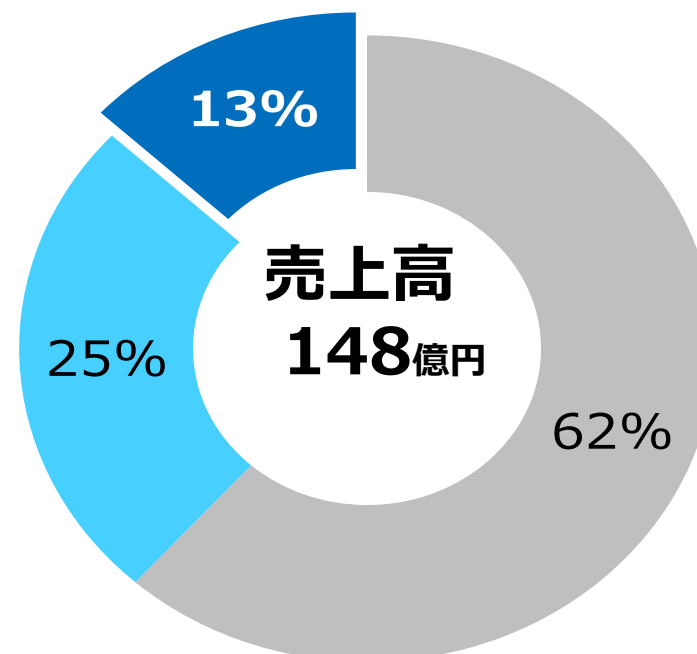
<FY13売上割合>

■ 航空会社 ■ 空港会社 ■ 航空・空港以外



<FY19売上割合>

■ 航空会社 ■ 空港会社 ■ 航空・空港以外



当資料に記載されている事業名は管理会計用。開示用に作成している連結財務諸表又は個別財務諸表においては、現時点での事業の性格、量的な重要性等を勘案し、整備事業と施設事業をまとめて整備事業、セキュリティ事業、フードシステム事業、新規事業、GSE等販売事業をまとめて付帯事業として報告しています。

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

当資料に記載されている将来の業績予想は、技術、需要、価格、経済環境の動向により変化が発生する可能性があり、将来における弊社の業績は当資料に記載された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

お問合せ先



株式会社エージーピー 経営企画部

電話: 03-3747-1638

FAX: 03-3747-0707

URL: <http://www.agpgroup.co.jp/>